



「あなたもできる 100問解いて天気予報」

山本光義 著
技報堂出版, 2013年6月
160頁, 1400円(本体価格)
ISBN 978-4-7655-4474-0

「空を見上げたくなる本」 ～お天気読みになるための 10カ条～

山本光義 著
技報堂出版, 2013年6月
148頁, 1800円(本体価格)
ISBN 978-4-7655-4475-7

著者の山本光義さんは50代後半になり気象予報士資格を取得。永きにわたり務めた中学校理科教諭を退職後、それぞれ小中学校の先生向け、気象予報士を目指す人向けに2冊の本を既に著している。ここで紹介するのは今般一般向けに同時に上梓された2冊である。「はじめに」によると、「100問」は楽しみながら天気予報をマスターできるよう初級から上級までの100の練習問題を解くことによって、天気予報に最低限必要な知識や方法を習得できるように、「10カ条」は経験がなくても観天望気ができるよう要点を10カ条にまとめ、誰でも、どこにいても天気予報ができるようにその方法を示した、とのことである。

最初に両者の目次を示す。

「100問」

- 第1章 地球に水があるから天気が変わる
- 第2章 空の雲はなぜ落ちてこない?
- 第3章 雨は雲から降ってくる
- 第4章 地球は風の向きを変える
- 第5章 観天望気で天気予報をしよう
- 第6章 天気図や気象衛星画像などを使った天気予報
- 第7章 さまざまな環境問題に目を向けましょう

「10カ条」

- 第1章 暦の上の季節と実際の季節とは違いますか
- 第2章 北風と南風のせめぎ合いで日本の天気が変わる
- 第3章 天気の不思議
- 第4章 天気に影響する環境問題

- 第5章 天気はどこまで予想できるか
- 第6章 10分でできる観天望気10カ条をマスターしましょう
- 第7章 問題を解いて観天望気の達人になりましょう

「100問」は全体が問題・解答形式による著述となっており、「10カ条」でも第6章、第7章では問題・解答形式が採用されている。

目次を見れば分かるとおり、天気予報に限ることなく、気象や環境問題まで幅広く話題を提供している。「10カ条」でも実は「観天望気」に割かれたページは全体の3分の1以下である。その中でも熱中症対策とか、通常「観天望気」には含まれないような項目も含む。雑学的知識も入れて、興味を引くように配慮されている。狭い意味での「天気」だけではなく、自然・環境まで広く関心を持ってほしいという著者の願いが感じられる。全体として、自然に対する愛情に満ちあふれた記述である。

残念ながら評者としては一般の方には本書を薦めることができない。細かいところでは文章の推敲不足や誤記が散見されるし、質問・解答でもわかりにくい出題、解答例(選択肢)が目立ち、読者の理解を助けていない。そもそも著者の気象学に対する理解が必ずしも学問の体系に基づいていると思われず、随所でほころびを感じ戸惑ってしまう記述が多い。

ただし、このような感想は評者が専門家の方の端くれだから持ってしまうものであって、一生にこの本の他に気象に関する本を読むことがないような一般の方には、十分な水準なのかもしれない。このような伝え方は、まさに「すべての」人に理科の楽しさを伝えてきた理科教諭としての著者の経験に根ざしたものといえるだろう。専門家が興味を持った人だけに教えてやる式の普及活動とはまったく違ってくるはずだ。その意味で普及活動に関心のある専門家の方はぜひ本書を読まれるとよいだろう。一般の方の興味の対象や考え方を知らうえで参考になるだろう。なにより天気・自然への興味と長年の職務経験を活かした取り組みへの姿勢や熱意に敬意を払いさらなる飛躍に期待することになる。専門家として学ぶべき点は多いと思われる。

(気象研究所 山本 哲)